

発売中
100円

憲法9条を変えて、
「戦争する自衛隊」にして
いいのですか (憲法会議・発行)

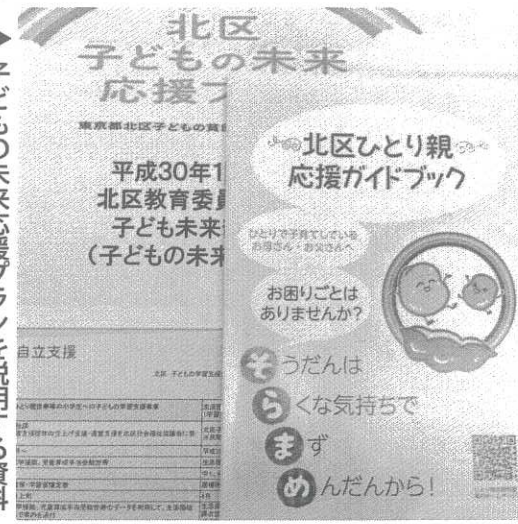
4市区の子育て支援 など 研修

教育福祉委
行政視察

ひとり親相談窓口を常時開設（東京北区）

教育福祉委員会は10月9日～11日、4市区の子育て支援などを研修しました。東京北区は、ひとりで子育てをすることに不安を抱える家庭の相談窓口を常時開設しています。

東京北区では、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、貧困の状況にある子どもが、健やかに育つ環境を整えるため、「子どもの未来応援プラン」を作っています。



行政視察する教育福祉委員会 (10月10日、東京北区役所前)

日隈市議は、ひとり親家庭の相談窓口「そらまめ」の利用状況やかかっている費用など詳しい説明を聞きました。2017年9月からひとり親家庭福祉に詳しい相談員を常時1名以上置いてます。また、家計相談や養育費などの法律相談に対応するため、弁護士やファイナンシャルプランナーが月2回来ています。昨年9月から今年3月までの相談実績(7カ月)は、面接155件、電話70件、家計相談25件、弁護士相談14件です。昨年度の費用は約5百万円で、そのうち東京都から4分の3の補助があります。今年度は、土曜日相談やメール相談を始め、平日区役所に相談に来るのが難しい親への対応を行っています。

浦安市 子育て支援 妊娠期からの切れ目ない支援

理由を問わない短時間の子ども預かり

教育福祉委員会は今年9日、浦安市の子育て支援を行政視察。妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援をめざした取り組みをしています。11日の行政視察は、調布市の不登校児童生徒への学びの場と居場所づくりの取り組みを研修しました。

浦安市は、子育て世帯の9割が核家族世帯、未婚率が増加、30代と40代の女性の就業率が高い、ひとり親世帯の増加などの現状があることから、2014年から子育て支援の取り組みを始めました。日隈市議は、理由を問わない短時間の一時預かりを回数制限なしに取り組み、育児負担の軽減や保護者のリフレッシュに効果あげていることを詳しく聞きました。

調布市は、不登校の子どもの学びの場として市立第7中学校に「はしうち教室」を開設しています。日隈市議は、「はしうち教室」



▲浦安市の職員に質問する日隈市議 (写真右、9日)
調布市の教育委員会職員 (写真左側) から説明を受ける
教育福祉委員会 (写真右側、11日) ▼

